

日 薬 業 発 第 218 号
令 和 7 年 3 月 31 日

都道府県薬剤師会担当役員殿

日 本 薬 剤 師 会
副 会 長 森 昌 平

公認スポーツファーマシスト認定制度について

平素より、本会会務にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

薬剤師によるアンチ・ドーピング活動につきましては、都道府県行政や都道府県スポーツ協会等と連携の上、貴会に多大なるお力添えをいただいております、重ねて御礼申し上げます。

また、貴会におかれては、スポーツファーマシスト（以下、SP）の活動推進にご協力いただいているところです。2024年度より、昨今のスポーツ現場に則したカリキュラムへの発展を目標に、SP認定制度は日本アンチ・ドーピング機構（JADA）及び日本スポーツフェアネス推進機構（J-Fairness）の共同運営とし、本会役員も参画の上、カリキュラムの見直しを行って参りました。

この度、2025年度より、スポーツ薬理学等を含む新たなカリキュラムにて、実務面ではJ-Fairnessがスポーツファーマシスト事務局として運営を担い、受講者・認定者への対応を行うこととなりました。SPの認定は、引き続き、JADAとJ-Fairnessで構成する「スポーツファーマシスト認定委員会」が行うとのことです。

これら取扱いにはJADA及びJ-Fairness WEBサイトに掲載されているほか、SP認定者に対しメールにて順次案内がなされるとのことです。

本会としては、引き続き、両団体と協力して、SPの養成やアンチ・ドーピング活動に取り組んで参ります。

なお、都道府県薬剤師会との連絡調整は従前どおりJADAが担当するとのことです。貴会におかれましては、本件につきましてご了解いただけますよう、宜しく御礼申し上げます。

○参考

- ・日本アンチ・ドーピング機構（JADA）
<https://www.playtruejapan.org/topics/2025/000728.html>
- ・日本スポーツフェアネス推進機構（J-Fairness）
<https://www.j-fairness.org/>



2025 年 3 月 31 日

公益社団法人 日本薬剤師会
会長 岩月 進 様

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構
会長 赤間 高雄

一般社団法人 日本スポーツフェアネス推進機構
代表理事 河野 一郎

公認スポーツファーマシスト認定制度について

浅春のみぎり、貴会におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素より公認スポーツファーマシスト認定制度の運営にあたりましては、多大なご理解、ご協力をいただいておりますところ、心より御礼申し上げます。おかげさまで 2025 年度の公認スポーツファーマシスト資格の認定者は 1 万 3 千人を超え、多くの薬剤師の皆様によりスポーツ界が支えられていることを日々感じております。

日本アンチ・ドーピング機構（JADA）と日本スポーツフェアネス推進機構（J-Fairness）は、貴会とも連携を図りつつ、本制度の今後のあり方について検討を重ねて参りましたが、このたび、カリキュラムの見直しとともに、新たな受講システムを導入する運びとなりました。

2025 年度以降のカリキュラムは、アンチ・ドーピングに加えて、スポーツ薬理学、スポーツ医学、スポーツ科学を追加し、公認スポーツファーマシストはトップアスリートだけではなく、様々な場面でスポーツを楽しむすべての人をサポートするための資格へと拡充されることになります。

資格認定は、引き続き、JADA と J-Fairness で構成する「スポーツファーマシスト認定委員会」が行い、実務面では、J-Fairness が主体となるスポーツファーマシスト事務局が制度運営を担うこととなります。また、各都道府県薬剤師会様との連絡調整は従前どおり JADA が担当し、受講者・認定者の皆様の対応については J-Fairness がスポーツファーマシスト認定業務センターを設置し、業務にあたります。

国内におけるアンチ・ドーピング機関である JADA とスポーツによる豊かな社会の実現に取り組む J-Fairness の連携のもと、これまで以上に公認スポーツファーマシストの皆様に、ご活躍いただけるよう制度を充実させて参りますところ、引き続き、貴会のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

【本件に関するお問い合わせ】 スポーツファーマシスト事務局 E-mail: sp@j-fairness.org